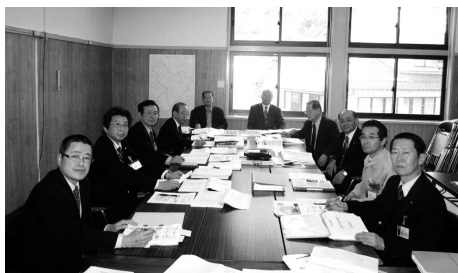


## 教育経済常任委員会 委員長 門 眞一郎

### 飯南町公共下水道施設、八神農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽の設置および管理に関する条例の改正

下水道料金は平成17年に定められたものだが、経費の増大と老朽化による修繕費の発生など収支のバランスが崩れているので、基本料金を改定するもの。



### 平成24年度 一般会計予算

#### 定住促進住宅整備事業 9,061万円

定住促進賃貸住宅4棟(泉川団地)の計画と下赤名・長谷地区へ農地付空家住宅を各1棟整備するもの。



泉川団地

#### 畜産業費 1,935万円

畜産業に対し従来の優良牛確保対策事業、受精卵移植事業が継続される。積極的に後継者対策や畜産振興対策に取り組むよう促した。



島根中央家畜市場

#### 観光費 2億1,105万円

町内観光施設の指定管理料と修繕費等への支出が多くを占めているが、観光振興につながる予算執行を求めた。



急速充電施設

### 当委員会は平成24年度飯南町一般会計予算特別委員会に対し次の意見を付した

#### 緑の分権推進事業

志津見地区のクラインガルテンにスマートメーターを設置し、電気の使用量を調査する事業は一般家庭のデータと乖離しており、実施あたりに再検討を要する。

全国の成功・失敗例を精査・研究し確実な計画策定を求める。

#### 観光費

指定管理料の支払い基準見直しが必要だ。利益の出る売り上げ目標を設定し、指定管理料廃止に向け努力すべきだ。

#### 道路橋梁費

道路改良に対する住民要求があるにもかかわらず、予算が少なすぎる。町道整備計画の優先順位を明らかにし、計画的に実施すべきだ。



町道長徳寺線視察

#### 産業振興の体制づくりについて

産業振興課の所管する事業の範囲は多岐にわたっており、1課でこれに当たらせる事により、ひとつひとつの事業の実効性が低くなる恐れがある。確実な事業実施の出来る体制作りを努めるべきだ。

#### 林業振興

本町の山林は全面積の87%を占めている。山林を生かして本町の活性化を図るために、担当職員の増員をすべきだ。

## 総務厚生常任委員会 委員長 長島 正一

### 飯南町課設置条例の改正

事務分掌の改正により、企画財政課に飯南高等学校の支援に関する担当を置くこととし、町の推進施策として位置付けを明確にした。高校の存続と1学年2学級維持は地域全体で取り組むべき課題である。



### 平成24年度 一般会計予算

全体的には、財政調整基金の取崩をせず予算編成され、収支均衡予算が堅持されている。

歳入は、平成22年の国勢調査による算定替えで地方交付税の減額が懸念されたが、前年とほぼ同額を確保できている。

歳出は、普通建設事業費8億6,051万円と災害復旧費753万円で、昨年より2億円強の減少となり、地域経済への悪影響が心配される。

#### 地域交通対策費

3,863万円

町営バス運行経費・赤名三次線運行費補助金等である。現在、地域交通維持のため、関係機関に高速バス存続要望を行っているが状況は厳しい。町独自のバス運行も視野に入れ、検討を進める必要がある。



町営バス

#### 人工透析患者支援事業

451万円

これまでの支援を継続しながら、新たな事業として、より患者のニーズに沿った形の輸送サービスを行う。運行は、4月より活動するNPO里山コミッションに委託する。

#### 町立保育所業務委託料

1億102万円

保育所の社会福祉協議会への業務委託料で、保育の責任を行政が担いながら、経費の削減を図る。今後、社協による正規保育士の採用により、保育の質向上と土曜日の終日保育実現、早朝・延長保育の充実等によるサービスの向上を目指すことを求めた。



赤名保育所

### 国民健康保険事業特別会計予算 8億2,264万円

前年の国保会計の収入見込みが甘く、国保特会基金の取崩しと一般会計からの繰入によって会計を維持した。国庫支出金・県支出金等予測が難しい面もあるが、甘さを指摘せざるを得ない。

また、国保料の値上げを先延ばししたことにも一因があり、激変緩和措置を講じながら、国保広域化を見据えた制度の統一と、会計の健全化に努力を求めた。